

『臥龍梅』 歳便り

平成二十三年弥生



拝啓 寒さもようやく和らいでまいりましたが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

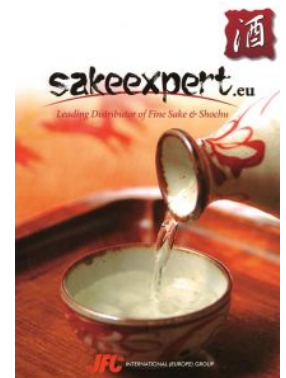


毎年この季節になると気になるのが、興津清見寺の臥龍梅です。樹齢400年の老木のせい、なかなか開花せず、今年も2月中はまだつぼみの状態でした。そのかわりと言ってはなんですが、我が家の庭の臥龍梅をご覧ください。数年前に、ご愛飲家の方が枝から接いだ苗木をわざわざ送ってくださったものです。気がついてみたらしっかりと根付き、可愛い花を咲かせるまでに育っておりました。

さて、今月のご報告することがいっぱいです。まず、2月12、13日の両日、JR清水駅の海側の広場で**清水みなと屋台まつり**が開催されました。静岡商工会議所青年部の主催によるもので、B級グルメを中心に数十店の屋台が店開きし、寒さもものかわ大勢のお客様でごったがえしました。出店された市内の料理店**梅光**さんのお話では、立ち飲みで、臥龍梅の純米吟醸酒の一升瓶が1日で5本も空いてしまったそうです。その翌週の19、20日の両日には、ツインメッセ静岡という会場で**静岡ものづくり**ならびに**食の彩典**というイベントが開催されました。同じく静岡商工会議所の主催によるもので、149の会社、団体が出展し2日間で37,000人が来場する盛況ぶりでした。**食の彩典**会場に酒造組合が出展しているというので挨拶に寄ってみると、わが臥龍梅も含めて誉富士のお酒をせっせと宣伝してくれておりました。



その翌週の23日には、ヨーロッパで臥龍梅を販売してくださっている**JFC INTERNATIONAL (EUROPE) GROUP**の社長さん以下6名の皆さんが来場されました。こちらは、ドイツに本社を置いてヨーロッパ全域のリカーショップやレストランに食品、酒を販売している会社です。最近、地酒の販売にも力を入れており、勉強のためにわざわざヨーロッパから帰国されたものです。スタッフの皆さんは、それぞれドイツのデュッセルドルフ、フランクフルト、イギリスのロンドン、オーストリアのウィーン等ヨーロッパ各地を発って成田に集合し、その後、秋田から山形、静岡、岐阜と、日本列島を北から南へ、弊社を含めて五つの蔵を訪問、見学して廻る途中のことでした。なんでもヨーロッパではお酒は毎年120%の売り上げ増で、10年後には現在のアメリカ市場の規模まで拡大する見込みだとのこと、心強い限りです。お話をうかがっているうちに、皆さんの真摯な販売姿勢がひしひしと伝わってまいりました。素晴らしい販売スタッフの皆さんと知り合え、素晴らしい会社とお取引が出来たことを嬉しく思いました。



さて、今月には山田錦50%の純米吟醸の新酒をご案内いたします。純米大吟醸と遜色似ない出来栄です。また、山田錦55%の純米吟醸の袋吊雫酒はいよいよ在庫僅少となってまいりました。どちらもお早めにご注文ください。

早春の候、皆様ますますお元気でお過ごしくださいませ。

平成23年3月吉日

敬具
鈴木克昌